

日本オペレーションズ・リサーチ学会

第7回, 第8回 研究発表会記事

第7回研究発表会

第7回研究発表会は1960年度総会に引続き、昭和35年4月23日(土)午後から、早稲田大学小野記念講堂で開かれ、24日(日)一ぱい行われた。早稲田大学河辺旨教授、佐藤常三教授の特別講演(河辺教授の講演は第4巻第1号に掲載済み)の他13件の研究が発表された。なお24日(日)は午後4時から厚母庸二前会長、森口繁一新副会長をはじめ33名の会員が参加して大隈記念会館で懇親会が開かれた。翌25日(月)は午前9時に東京駅前に集合43名が貸切バスで川崎製鉄千葉工場を見学した。

第7回研究発表会プログラム

第1日 4月23日(土)13時~17時

特別講演: 企業生理の把握とオペレーションズ・

リサーチ—欧米の動向— 東京工大・松田武彦

- 1) サンプル値制御系としての輸送力学
防衛大・岸 尚
 - 2) 欠点のある材料からの切出し
統数研・渋谷政昭
 - 3) Optimum Design Synthesis とその試み
電気試験所・乗松立木
 - 4) 輸送問題への確率論の適用(輸送量と輸送距離
の関係の解析) 国鉄・櫛田用二
 - 5) とくにO要素の多い行列のモンテカルロ法
による逆転 早大生産研・高橋磐郎
 - 6) 待合せ行列に関する2, 3の問題
富士精密・牧野都治
- 第2日 4月24日(日)9時30分~12時
- 7) 受信管の信頼度と劣化特性 NHK技研・斎藤嘉博
 - 8) イオン交換樹脂膜操作における最適条件
東大・梅谷陽二
 - 9) 動態的マクシミン発注政策の特性
早大・春日井博, 加瀬谷忠美
 - 10) Prediction Theory and Dynamic
Programming 都立工短大・小田中敏男
 - 11) 移動平均計算機について
阪大・宮脇一男, 曾我部香一

4月24日(日)13時~15時

特別講演: OR と計量経済学 早大・佐藤常三

特別講演: OR と経済政策 早大・河辺 旨

12) ヤード活動のシミュレーション

国鉄・金松正世

13) 情報路の容量について 電通大・坂口 実

第8回研究発表会

秋季研究発表会は、昭和35年11月5日(土)、6日(日)の両日、神戸大学経済学部にて開催された。

今回の発表会は、企画・運営共に本部の指示により関西支部が受持つ事となり、水谷支部長を中心とする運営幹事がこれに当たったが、実施に際しては神戸大学経済学部の事務室、日本規格協会関西支部及び本部の幹事の方々の援助を受ける事が多かった。

論文募集の期間が短かかったにもかかわらず、約30編の申込みがあり、プログラムの編成に嬉しい悲鳴をあげさせられた。又、大学、研究室関係の理論的研究成果の発表に対して、民間会社関係からの実際問題を取扱った研究発表が殆んど半数に達した事は、OR学会の今後の発展の上にも喜ばしい事と考えられた。

発表会は、5日水谷副会長の開会の辞に始まり、午前、午後と主として大学関係者の15編の研究成果が紹介された。昼食時には当日の参加者約80名の殆んど全員が一堂に会して、懇親会が開かれ、神戸大学学長福田敬太郎教授より歓迎の挨拶があった。

第2日目の6日は前述の如く主として民間会社関係者の14編の発表があり、参加者も100名を越えた。午前の部の終りには岸会長より「ORワーカーを使う立場から、OR研究者に望む事は、趣味に陥らないように気をつけられたい事」だとの趣旨の挨拶があった。

会場は六甲山の中腹の景勝の地にあり、気づかわれた天候も雨を見る迄には至らず、万事順調に進行して、6日午後5時、山口庶務理事の閉会の辞で幕を閉じる事が出来た。

7日(月)は阪奈有料道路の見学を中心とした奈良観光を行ったが、遠来の会員を主とした約30名の方々の参加を得、晩秋の1日を楽しく過ぎて頂いた。

第8回研究発表会プログラム

1. 線型模型による銀行の収益予測

- 神戸大・後尾哲也
2. 乱数発生の一問題 東京工大・國沢清典
 3. 楕円型偏微分方程式の数値解法(II)
加速 LIEBMANN 法における係数の計算
早大理工・中島勝也, 早稲田高・藤野喜一,
早大生産研・小島 惇
 4. 楕円型偏微分方程式の数値解法(III)
ラプラスの方程式の調和接続解法
早大理工・中島勝也
 5. Reliability Control への DP の応用(I)
点検周期の一考察 国鉄・三嘴 武
 6. ある逐次計画の Dynamic Programming
電通大・坂口 実
 7. LP による最経済的電源開発計画
中国電力・権藤 元
 8. Prediction Theory and Dynamic programming —The Case of Multiple Time Series—
都立工短大・小田中敏男
 9. 連立線型方程式の係数の変化に対する解の変化
国土地理院・石川甲子男
 10. 非線型函数の判定等について
—特に時系列分析への応用—
住友化学・岡沢 宏, 田熊汽缶・円山由次郎
 11. Priority のある Cyclic Queue
防衛大・岸 尚
 12. Queuing System ($E_t/M/C$) と ($D/M/C$)
について 慶大・河村知男
 13. 推移確率 $P_{ij}(t)$ に関する二, 三の性質
について 東京教育大・宇田川正友
 14. 倉庫容量算出表の作成について
東京工大・國沢清典, 日本原研・中山 隆
 15. 安全在庫の減し方 日本電気・水野幸男
 16. 受信管の保守とそのコスト
NHK 技研・斎藤嘉博
 17. 標本設計における一つの試み
関西学院大・西治辰雄
 18. ダイナミック・ゲームの一考察
神戸大・水谷一雄
 19. 国鉄マネジメント演習 国鉄・池沢義介
 20. 逐次実験による最適値探求法について
田辺製菓・朝尾 正
 21. m 台の機械で n 個の仕事を行う場合の
順序づけ 都立広尾高・鍋島一郎
 22. 潜在需要による耐久消費財需要予測新モデル
東亜燃料・井上文彦
 23. OR における相対運動図の利用について
 24. 診療所の OR 日本電気・関本忠弘
東芝・原野秀永
 25. 欠勤の確率分布と最適予備人員の決定
松下電子・藤川忠重
 26. 電電公社における二, 三の事例
電電公社・唐津 一, 大前義次, 横井 満
 27. 紡績に於ける作業員配置計画の一例
東洋紡績・椿 常也
 28. OR 適用の実際上の問題点
—B・OR 推進の方向—
東洋レーヨン・藤代佑宏, 伊藤忠雄, 福岡忠治
 29. 離島製錬所における飲料水対策
三菱金属鉱業・菅波三郎
-
- お知らせ—
- ◆さる昭和 35 年 5 月 28 日(土)に, 第 32 回国際統計会議日本開催を記念して, 朝日新聞社東京本社講堂で開かれたフィッシャー卿, マハラノビス教授講演の別刷(それぞれ英文誌, vol. 3, No 1 & 2, vol 3, No. 3 に掲載されたもの)がこのほど出来ました。送料共 1 部 100 円です。会員外の方におすすめ下さい。
- ◆ 1961 年度総会および第 9 回研究発表会ニュース
総会および研究発表会は東京工業大学(東急大井町線大岡山駅下車)で開かれます。
- イ) 総 会 4 月 22 日(土)9.00~12.00
ロ) 研究発表会 4 月 22 日(土)13.30~16.30
4 月 23 日(日)9.30~16.30
ハ) 懇 親 会 4 月 22 日(土)17.00~18.30
東京工大構内職員食堂 会費 700 円
ニ) 見 学 会 4 月 24 日(月)
原子力研究所(東海村)予定 定員約 50 名
会費 300 円
- ふるって御参加下さい。なお研究発表御希望の方は申込を 3 月 15 日, またアブストラクトを 3 月 20 日までに学会事務所までお届け下さい。
-
- 経営科学 4 巻 3 号を御手許に御届けてきて, あと本年度の予定として英文和文各 1 冊ずつを余すところとなり, どうやら公約の年各 4 冊発行の線を確保できる見透しがついた。これも会員の皆様の積極的な御援助と一切を引受けてくれている紀伊國屋書店の関係者の方々の御努力によるものと, 感謝している。もうそろそろ手持ちの原稿が心細くなってきたので, ふるって御投稿いただきたい。
- あえてこの欄を借りて皆様に御願ひする次第です。